



第293号

2013年(平成25年)6月1日

大臨技ニュース

T 543-0018
大阪市天王寺区空清町 8-33
大阪府医師協同組合東館 4 階
TEL.06-6763-5652 FAX.06-6763-5653
社団法人 大阪府臨床検査技師会
発行責任者: 運天 政五郎
大臨技ホームページ URL
http://www.osaka-amt.or.jp/

学術部 緊急検査部門 からのお知らせ

府民
公開講座

第2回 緊急検査部門 勉強会

Theme THE 急性冠症候群

評価点
基礎教科
20点
(会員証をお持ちください)
▶評価点▶
日臨技生涯教育点数

本年度最初の公開講座は、狭心症や心筋梗塞を含む“急性冠症候群”を取り上げました。つい最近、若くして有名女優が心筋梗塞で舞台を降板することになりました。突然起こる身近な病気です。ぜひこの機会に府民のみならずと一緒この病気について勉強しましょう

日時 平成25年6月29日(土) 14:30~16:30
会場 あべのメディックス 6階
参加費 無料
連絡先 大阪府立中河内救命救急センター 津田 喜裕
E-mail nmcam-lb2@nmcam.jp

特別
講演

だれにでもわかる狭心症、 心筋梗塞の治療

講師 枚方公済病院 心臓血管センター長
北口 勝司

内容

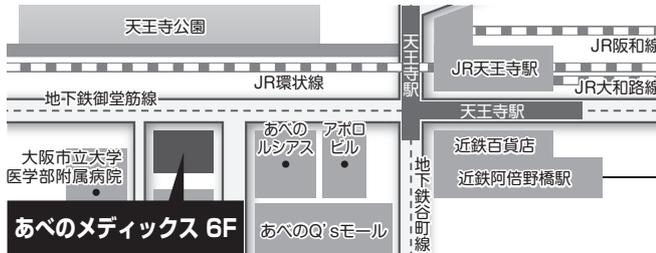
一般講演

I. 生理検査からのアプローチ

講師: 高石藤井病院 濱田 匡樹

II. 検体検査からのアプローチ

講師: 近畿大学医学部附属病院 増田 詩織



情報組織部チーム医療部門 糖尿病療養指導部会からののお知らせ

多職種
公開講座

糖尿病療養指導部会 定例勉強会

評価点
基礎教科
20点
(会員証をお持ちください)
▶評価点▶
日臨技生涯教育点数

前半では、糖尿病教室での取り組みを中心に糖尿病患者さんとの関わりを紹介していただきます。後半では、糖尿病と脂質代謝との関連について動脈硬化性疾患予防ガイドラインも含めてお話していただきます。冠動脈疾患や慢性腎臓病の有無によっても脂質管理目標は異なります。糖尿病患者さんが目指すべき検査値はいくらなのか、インスリンと脂質代謝との関連などについて知識を深め、療養指導に役立てたいと思います。多くの方の参加をお待ちしております。

日時 平成25年6月5日(水) 18:30~20:00
会場 住友病院 14階講堂 【今年度より会場が変わりました】
参加費 500円(一律)
連絡先 ふうだ内科クリニック 横山 有子
E-mail ar-ykym@mua.biglobe.ne.jp

内容

- 「当院における糖尿病教室の取り組み」
講師: 松原徳洲会病院 検査科 秋山 恵子
- 「糖尿病患者さんの療養指導
～血糖管理だけでなく動脈硬化の予防も大切～」
講師: 松下記念病院 中央検査部 中島 康仁

糖尿病療養指導士認定のための更新単位
(臨床検査技師のみ第1群):0.5単位
(CDEJの方で認定機構発行の「学会・研究会出席証明書」の必要な方は各自持参して参加証明印をもらってください。
2群の単位は取得できません。)



ACCESS

- 京阪電車中之島線 中之島駅下車(2番出口) 南へ徒歩約3分
阪神電車阪神本線 福島駅下車(西改札口) 南へ徒歩約13分
JR環状線 福島駅下車 南へ徒歩約15分
地下鉄四つ橋線 肥後橋駅下車(3番出口) 西へ徒歩約13分
地下鉄中央線 阿波座駅下車(1番出口) 北へ徒歩約12分

微生物検査部門 基礎講座&実技講習会

評価点
専門教科
20点
(会員証をお持ちください)
▶評価点▶
日臨技生涯教育点数

講義編

晴れて検査技師となり微生物検査を担当することになった方も、担当部署の異動で微生物検査を担当することになった方も、別の担当業務の合間に微生物検査をお手伝いすることになった方も、明日からのルーチンに役立つ細菌の基礎講習会です。「最低限これだけは知っておきたいこと」を中心に、塗抹検査から培養同定・感受性までの一連の検査の講義です。

また医師や看護師、他の医療従事者の方には、検査が実際どのように進みどのように結果が報告されているのか理解していただき、普段疑問に思っていることなどの解決になる講義です。多くの医療従事者の方のご参加をお待ちしております。

会場

大阪医療技術学園専門学校 (マップ参照)

時間

各回 18:30~20:00

参加費

会員500円(非会員は別途、資料代として500円が必要です。)

連絡先

大阪赤十字病院 検査部 市村 佳彦
E-mail triplets-kazu-nao-aki@nifty.com

日時・講師

▶ 平成24年6月6日(木) ●ゼロからの塗抹鏡検

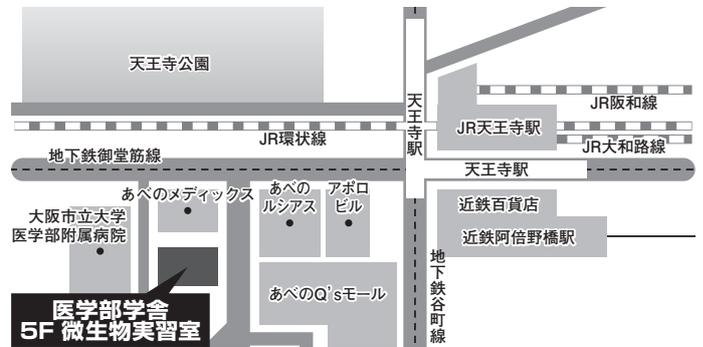
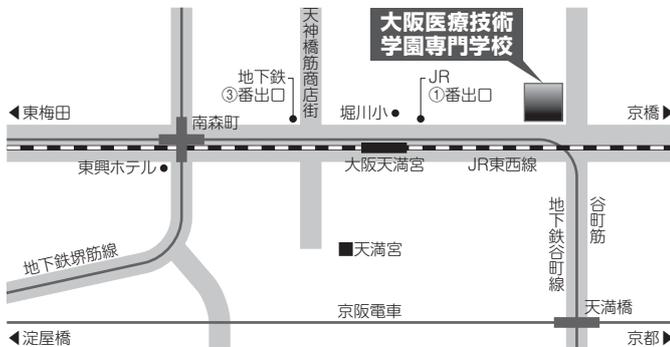
講師: 西淀病院 木村 麻友美

▶ 平成24年6月13日(木) ●ゼロからの培養同定検査

講師: 国立病院機構大阪医療センター 竹田 真未

▶ 平成24年6月20日(木) ●ゼロからの薬剤感受性検査

講師: 関西医科大学附属滝井病院 夏目 聖子



実技編

細菌検査の分野においてはまだまだ手作業の部分が大きく、誤った器具の操作方法は自分だけでなく、ともに働くスタッフにも感染の危険性を高めてしまいます。また、自動分析装置や簡便なキットが増えたと言っても、その検査結果を正しいものとして臨床に返すには、我々検査技師が判断しなければなりません。

基礎講座実技編は、微生物(細菌)検査の3本柱である塗抹・培養・感受性検査に必要な基礎技術の習得を目的として、教科書には詳しく説明されていない基本操作を中心に、日常の検査業務の流れに沿った形で進めていきます。

初心者対象ですが、「ちゃんとした操作法を教わった覚えがない」「一からもう一度勉強したい」「質問できる先輩がない」・・・様々な事情を抱えていらっしゃる方、聞かぬは一生の何たらですよ。

また医師や看護師、他の医療従事者の方には、実際に検査技師が行っている仕事をともに経験していただき、よりいっそう報告される検査結果に対して理解を深めていただけたらと思います。普段疑問に思っていることなどの解決になる講義です。大阪は一から教えます!今年もやります!初心者対象ですが、老若男女、職種を問わず、ぜひご参加ください。

日程

- ▶ 平成25年7月13日(土) 9:00~17:00 (グラム染色のみの参加も可能です)
- ▶ 平成25年7月14日(日) 9:00~17:00
- ▶ 平成25年7月15日(月:海の日) 9:00~15:30

会場

- 7月13日:大阪市立大学医学部 5階 微生物実習室
- 7月14日、15日:大阪医療技術学園専門学校 (マップ参照)

参加費

会員8,000円、非会員15,000円、
グラム染色のみ参加5,000円

申込み先

〒589-8511 大阪府大阪狭山市大野東377-2
近畿大学医学部付属病院 中央臨床検査部 細菌検査室
宇都宮 孝治
E-mail Kouji.utsunomiya@sayama.med.kindai.ac.jp

募集人数

- 30名

申込方法

左記申し込み先にメールまたは官製はがきにて

1) 実技申し込みの選択

(グラム染色実習のみ、またはグラム染色+基礎技術講座の両方)

2) 施設名、3) 部署、4) 施設の住所および郵便番号・電話番号・FAX番号、5) 氏名、6) 日本臨床検査技師会所属の方は、日臨技

会員番号、7) 微生物検査経験年数、

8) 自施設で使用しているグラム染色の方法をお知らせください。受付確認のご連絡をさせていただきます。

※携帯のメールからは申し込み不可とさせていただきます。

評価点
専門教科
25点
(会員証をお持ちください)
▶評価点▶
日臨技生涯教育点数

学術部 微生物検査部門からのお知らせ

他職種
公開講座

微生物検査部門 定期講習会

評価点
専門教科
20点
(会員証をお持ちください)
▶評価点▶
日臨技生涯教育点数

Theme 『この菌なんだろう？ 症例から学ぶ細菌の同定法について』
講師: 岐阜大学 大学院医学系研究科 病原体制御学分野 大楠 清文

□ 常に出会う細菌の多くは、培地集落の形状や同定キットで菌種同定を行うことができますよね。しかし、これまで経験のない微生物に出会った瞬間、新しい微生物へのときめきと、同定できなかった場合の不安とがあるのではないのでしょうか。一方で、その微生物が検出される臨床的な背景を知ることによって、菌種同定への近道になります。

そこで今回の定期講習会では、岐阜大学 大学院医学系研究科 病原体制御学分野 大楠清文先生をお招きし、「この菌なんだろう？ 症例から学ぶ細菌の同定法について」と題して講演していただきます。

今まで遭遇したことのない微生物に立ち向かうための、ノウハウをレクチャーしていただきます。多くの方のご参加をお待ちしています。

日時

平成25年6月18日(火) 18:30~20:00

※当初の予定より日程が異なっていますのでご注意ください

会場

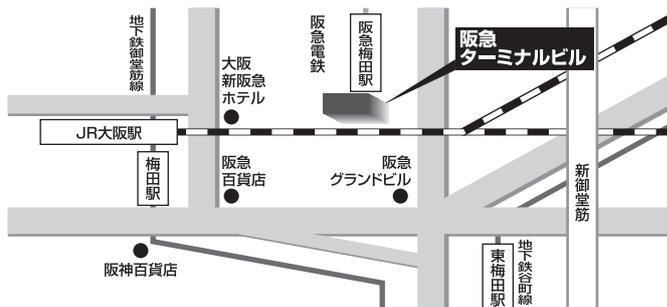
阪急ターミナルスクエア・17 ふじの間
阪急梅田駅上 阪急ターミナルビル17階

参加費

会員500円(非会員は別途、資料代として500円が必要です。)

連絡先

大阪赤十字病院 検査部 市村 佳彦
E-mail triplets-kazu-nao-aki@nifty.com



学術部 臨床化学検査部門からのお知らせ

他職種
公開講座

臨床化学検査部門 講演会

評価点
専門教科
20点
(会員証をお持ちください)
▶評価点▶
日臨技生涯教育点数

Theme 『いまさら聞けない生化学の基礎知識』

講師 ベックマン・コールター株式会社
渡邊 正一

今日、自動分析機器の発展は著しく、検体を分析機器に載せてしまえば自動的に検査結果が得られる時代となりました。

また、自動分析機器に試薬を載せる場合、以前は自分達の検査室で検討を行っていましたが、最近はその検討を機器・試薬メーカーに委ねる施設が増えていきます。そのため、生化学項目の基礎的な知識が欠落している現状ではないでしょうか？

今回は生化学の基礎知識がメインテーマですが、人に聞けない雑学とも言える生化学検査の基礎知識も含めて講演していただきます。ぜひともお誘いあわせのうえ、ご参加ください。

日時 平成25年6月13日(木) 18:30~20:00

会場 大阪市立大学医学部 4階小講義室1

参加費 500円(非会員は別途、資料代として500円が必要です)

連絡先 大阪市立大学医学部附属病院 石田 繁則

E-mail shigei@med.osaka-cu.ac.jp

Information

平成25年度日臨技近畿支部医学検査学会(担当:福井県臨床検査技師会)において

「検査相談 ~検査説明・結果説明~ の取り組み」をテーマに臨床化学検査分野のシンポジウムが行われます。つきましては検査相談・説明に関するアンケート調査を近畿各府県で行い、結果を報告いたします。

大臨技各施設におかれましては同封されており、案内文をお読みいただきアンケートにご協力をお願いいたします。

Information

大臨技後援行事のお知らせ 「第6回日本未病システム学会近畿地方会」

予告

日本未病システム学会は約900名の会員からなります。

会員の多くは医師、薬剤師、臨床検査技師、栄養士といった専門の資格を有しておりますが、その専門分野のみにとらわれず広く未病医学の研究ならびに未病指導の実践成果を情報交換する学会です。

日本未病システム学会近畿地方会学会の活動は、未病医学における各専門領域での未病専門医、未病専門指導師の育成を主眼に、シンポジウム、研究、パネル討論等の学術会議ならびに一般生活者への未病指導を行います。

Theme 治未病への誘い

~いかに未病対策を支援するか~

日時 平成25年7月27日(土) 10:00~17:00

会場 大阪大谷大学

(〒584-8540 大阪府富田林市錦織北3-11-1)

ホームページ <http://mibyoun-kinki.kenkyuukai.jp/about/>

検体管理システム部門 特別講演会

評価点
基礎教科
20点
(会員証をお持ちください)
【評価点】
日臨技生涯教育点数

Theme 「臨床検査データの管理と活用」

医療情報技師ポイント 1点

近年、多くの病院で電子カルテが一般的になってきており、すでに、いくつかの病院では長期間に渡る大量の診療情報や臨床検査データが蓄積されています。今後、臨床研究や診療支援において、大量に蓄積された臨床検査データを利用することが求められ、臨床検査技師は、データベースの扱いに対するスキルが必要となってきます。

そこで、今回、検体管理システム部門では、情報講演会として「臨床検査データの管理と活用」をテーマとした講演会を企画しました。データベースおよびデータウェアハウスの基礎知識、長期間蓄積されたデータウェアハウスのデータの活用方法、そこから得られる新たなエビデンス、などについて講演していただきます。

なお、この講演会は医療情報技師の更新ポイント対象になっています(1点)。ポイント付与を希望される方は、講演会当日、医療情報技師認定カードをご持参くださるようお願いいたします。

日 時	平成25年6月15日(土) 13:30~16:30
会 場	大阪医科大学 新講義実習棟 P302
参加費	会員 1,000円 非会員 3,000円
連絡先	JR西日本健康増進センター 大江 泰浩 E-mail systembumon@oamt.jp 問い合わせの際は、件名のヘッダに「<検体管理>」と付けてください。



内容	
1. データベース・データウェアハウスの基礎	講師：日本オラクル株式会社 千葉 大輔
2. データウェアハウスにおける臨床検査データの利用	講師：大阪大学大学院医学系研究科医療情報学 真鍋 史朗
3. 検査情報データからの新たなエビデンス創造	講師：高知大学医学部附属医学情報センター 片岡 浩巳

他職種
公開講座

免疫血清検査部門

定期講演会 2

予告

評価点
専門教科
20点
(会員証をお持ちください)
【評価点】
日臨技生涯教育点数

今回の免疫血清検査部門定期講演会は「打倒！糖尿病」に向けての知識の習得をテーマに企画いたしました。

ご存知の通り、わが国では増え続けている「糖尿病」ですが、一方でその治療薬や診断薬の進歩も目を見張るものがございます。

独自の技術で長時間作用が可能となった新型インスリン製剤の秘密をノボルディスクファーマ株式会社の海老原先生にご解説いただきます。

また近年、進化が加速し POCT 機器や検査室で使用している分析装置に迫る性能を携えた SMBG 機器が登場してきま

した。その最先端の情報をテルモ株式会社の河内山先生にご提供いただきます。

免疫化学検査室でインスリンや血糖を測定している方々だけでなく、広く糖尿病療養指導に関わっておられる臨床検査

技師をはじめ他職種の方々にも有用な講演会になると考えています。

暑い夏の夜、講演会終了後はライトアップされた中之島界隈も散策可能です。なにとぞお問い合わせのうえ、ご参加くださ

いますようお願いいたします。

日 時	平成25年7月24日(水) 18:30~20:00
会 場	大阪中央公会堂B1展示室
参加費	会員500円 (非会員は別途、資料代として500円が必要です。)
定 員	50名
連絡先	大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻 上田 一仁 E-mail k.ueda@ashiya-hosp.com

内容	
18:30 ~ 19:00	SMBGの原理と使用・指導時の諸注意 講師：テルモ株式会社大阪DMチーム 河内山 幹
19:00 ~ 20:00	新型インスリン製剤は光明となるか？ 講師：ノボルディスクファーマ株式会社 海老原 亮

※営利企業のみによる講演会ですのでCDEJ研修単位は取得できません。



地下鉄御堂筋線「淀屋橋」駅下車 1番出口から徒歩約5分
京阪電鉄「淀屋橋」駅下車 18番出口から徒歩約5分
京阪電鉄中之島線「なにわ橋」駅下車 1番出口すぐ

学術部 生理検査部門からのお知らせ

他職種
公開講座

生理検査部門 定期講習会

評価点
専門教科
20点
(会員証をお持ちください)
▶評価点▶
日臨技生涯教育点数

Theme 「脳波判読のノウハウ」

講師 大阪医科大学附属病院 中央検査部
和田 晋一

皆様は脳波を判読していますか？それとも取りっぱなしで臨床に波形を返していますか？検査技師が判読しないですらどうするんですか？いつやるんですか？**今でしょ！**
今回の定期講習会では、「脳波のノウハウ」と題しまして、大阪医科大学附属病院 和田晋一技師に、脳波の基本的な事項から異常脳波の判読、さらに誰もが迷うような境界領域波形の解釈までわかりやすく解説して頂きます。
皆様が日頃抱いている疑問を本講習会で解決しましょう。

日時 平成25年6月20日(木) 18:30~20:00

会場 大阪医療技術学園専門学校 (2ページ:マップ参照)

定員 100名(座席数)
※満員の際は入場をお断りする場合があります。

参加費 会員500円(非会員は別途、資料代として500円が必要です。)

連絡先 大阪市立大学医学附属病院 安保 浩二
E-mail kaboreinaren@gmail.com

今年もやります！

Information

第4回 血管エコー実技研修会のお知らせ

予告

例年、ご好評をいただいております、血管エコー実技講習会を本年も開催します。エキスパート達のテクニックをぜひ習得しましょう。
詳しくは大臨技ニュース7月号でご案内します。

開催日時 平成25年8月4日

会場 大阪府医師協同組合本部

募集期間 7月1日(月)~7月14日(日)

学術部 一般検査部門からのお知らせ

一般検査基礎講習会

評価点
専門教科
20点
(会員証をお持ちください)
▶評価点▶
日臨技生涯教育点数

本 研修会は一般検査の基礎的内容を中心に学ぶことを目的としており全6回にわたり水曜日に開催しています。一般検査を始められた方からベテラン技師まで、幅広く学べる内容となっております。
第3回目は尿沈渣検査法②としまして「上皮細胞類」の分類と鑑別法について、第4回目は尿沈渣検査法③としまして「円柱類」と「塩類・結晶類」について、円柱の生成から尿中に出現するまでの過程や結晶類の鑑別方法と臨床的意義などについて学びたいと思います。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

第3回 尿沈渣検査法②上皮細胞類

日時 平成25年6月5日(水) 18:30~20:30
会場 クレオ大阪中央 セミナーホール
(大阪市営地下鉄「四天王寺前夕陽丘駅」下車 徒歩5分)
内容 「上皮細胞類」
~上皮細胞の分類と鑑別をマスターしよう！~
講師 大阪市立大学医学部附属病院 中央臨床検査部
滝沢 恵津子

第4回 尿沈渣検査法③円柱類と塩類・結晶類

日時 平成25年6月19日(水) 18:30~20:30
会場 クレオ大阪中央 セミナーホール
内容 1. 「円柱類」~出現する病態と分類法~
講師 大阪大学医学部附属病院 医療技術部検査部門
小林 渉
内容 2. 「塩類・結晶類」~鑑別法と臨床的意義~
講師 長吉総合病院 臨床検査科 野崎 聖恵

参加費 技師会員(賛助・申請中を含む) 500円
非会員3,000円

連絡先 大阪大学医学部附属病院 医療技術部検査部門
堀田 真希
Email: masakin@pop.dc5.so-net.ne.jp

今後の予定

5回目以降は下記の通り開催いたします。
詳細については開催月の大臨技ニュースをご覧ください。
※各回とも18:30より開催。

第5回 平成25年 7月 3日(水)「異型細胞」
第6回 平成25年 7月 17日(水)「髄液検査法」
※会場:クレオ大阪中央セミナーホール



Information

予告

京阪神尿沈渣実習with穿刺液(京都)のお知らせ

例年ご好評をいただいている京阪神尿沈渣実習を本年は京都にて開催いたします。
詳細は大臨技ニュース7月号にて掲載いたします。

唾液腺領域から消化管、肝胆膵領域に関する基礎知識、出現する正常・良性異型細胞などの良性病変から腫瘍性病変にわたり、その組織型や細胞所見などについて解説していただきます。

初心者の方はもちろん、経験者の方も知識の整理に役立つ絶好の機会です。みなさまぜひご参加ください。

日時 平成25年6月28日(金) 18:45~20:15

会場 北野病院 5階 きたのホール

参加費 会員500円(非会員は別途、資料代として500円が必要です)
近畿支部の地臨技会員証を必ず提示してください。
日臨技の会員証のみでは非会員扱いとなります。

連絡先 星ヶ丘厚生年金病院 検査部病理 三原 勝利
E-mail kattu310a@gaia.eonet.ne.jp

Theme 消化器細胞診

講師 大阪府立成人病センター 太田 沙世子



大阪府臨床検査技師会 主催事業

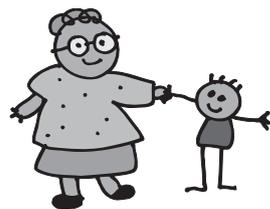
マタニティカーニバル2013 体験コーナーボランティア募集

今回のテーマは「われら子育て応援団！～奏でよう笑顔のハーモニー～」

子どもを産み、育てるために絶対に必要なもの、それは社会全体の応援と、調和=ハーモニーの心です。医師・企業関係者・出展者、イベントに係わる全ての方と共に、私たち臨床検査技師も、妊婦様やそのご家族、子育て奮闘中のご家族の「応援団」です。

マタニティカーニバルは、この「応援団」の輪を広げ、優しい気持ち・笑顔の絶えない社会を実現したい、そんなメッセージをこれからも発信し続けていきたいと考えます。

大阪府臨床検査技師会では、本年度もこの「マタニティカーニバル2013」の体験コーナーの運営を担当いたします。下記の通りお手伝いいただけるボランティア募集を行いますので、皆様のご参加、ご協力をぜひよろしくお願いいたします。



会期 2013年7月6日(土)・7日(日)
10:00~17:00

6日のみ、7日のみのご参加や、午前のみ、午後のみの方も大歓迎です。

会場 大阪南港ATCホール 地下鉄・ニュートラム
「トレードセンター前」下車すぐ

入場者数 20,000人(予想)

実績 2010年度 20,121人
2011年度 21,286人
2012年度 21,708人

応募方法 メールもしくはお電話でお願いいたします

担当: 小阪産病院 栗本 幸司

Email: heart@kosaka.or.jp

TEL: 06-6722-4771 内線545

募集するスタッフ

- ▶ 4D胎児超音波体験実施ボランティア (経験者の方)
- ▶ 骨密度体験、脳年齢チェック、内臓脂肪測定 (経験は問いません)
- ▶ その他運営スタッフ (経験は問いません)

多くの方のご協力をお待ちしております。

Report

第2回 南支部 地域オープンセミナー 報告

Theme 「日常臨床に役立つ睡眠学」に参加して

2月16日、市立岸和田市民病院にて「日常臨床に役立つ睡眠学」と題して、オープンセミナーが開かれました。

睡眠医療でご高名な、滋賀医科大学の宮崎教授の講演と聞いており、当日睡眠不足だった私は、正直居眠りしないように、緊張して参加しました。

セミナーが始まると、先生は最初に「眠たい人は寝てください」との一言。寝てくださいと言われると眠れなくなるもので、すっかり眠気も一掃されてしまいました。

先生の軽快な語り口調に、四方山話を交えながらの睡眠学のお話は、専門的ながらもわかりやすく、大変興味深いものでした。

人生の約三分の一の時間を占める睡眠。今回睡眠が生命機能の維持にとっても重要であり、質の高い睡眠を得る為にどうしたらよいか学ぶことができました。このような貴重なセミナーを開催して下さった南支部の先生方に、深く感謝お礼申し上げます。

りんくう総合医療センター 検査科 井伊 稚佳子

第2回 中央支部 地域オープンセミナー 報告

Theme 「検査技師と看護師から見たICTと感染防止対策」

当日は、学術部の講演会等があり、参加人員がどの程度来るか心配していましたが、77名の参加があり、主催者側としては、おおむね成功したと思っています。

今回の内容は、感染対策防止加算の運用とICTをふまえた活動となっており、各施設でどの程度運用されているかが焦点と考えていましたが、かなり内容が高度であり、施設間差があったと思われます。また、当日看護師も数名参加していただいております。本セミナーの趣旨が少しは反映されたと思います。今回の講演内容は、部分的には難しい部分もありましたが、2施設の現状の動きがわかり、今後の参考になったと考えています。

内容としては、最初にSRLの島川さんより、現状の感染対策防止加算やICTの現況報告があり、院内感染対策は各施設で積極的に行われていますが、不明な部分も多く、情報の収集が今後の課題とされていました。関西医科大学の中村さんの発表では、関西医科大学は感染防止対策加算1を取得しており、ほとんどの施設が加算2の状況とのことで、約20施設と年4回のセミナーを開催されていました。

また、多くの施設では細菌検査室を持たず、検体を外注検査に依頼しているため、現状の把握が大変難しいなかで、検査結果を把握し対応できるようにしていくことが、今後の調整課題とされていました。

市立堺病院の岡本さんより、看護師側の発表として、院内ラウンドをきめ細かく行って、少しでも院内感染の発生拡大を未然に

防いでいるとの報告があり、安全が保障されない限り、常に感染された状況と考え対応していく必要があるということも大変勉強になりました。

2施設とも、認定検査技師並びに認定看護師が在籍している施設での発表で、一般の中小の病院では、認定検査技師や認定看護師の在籍している施設は少なく、質問も出にくい印象でしたが、座長の幸福さんによる実状をふまえた演者の方々への投げかけによって、会場から質問を引き出すことができ、無事に質疑応答を終えることができました。

中央支部長 済生会野江病院 森 啓悟



参加者 検査技師62名、看護師4名、賛助会員11名 総計77名
検査技師内訳「日臨技41名、大臨技13名、他府県(奈良)1名、非会員7名(奈良2名・兵庫1名)

Voice

臨床検査技師教育機関からの声

本校には立派な桜の木があります。満開の桜の中、3年生65名を臨地実習に送り出しました。今では緑の葉で着飾っています。臨地実習に行き始めた4月では緊張していた学生も、そろそろ慣れが出てくる頃です。登校日には気を引き締めるよう注意を促しています。

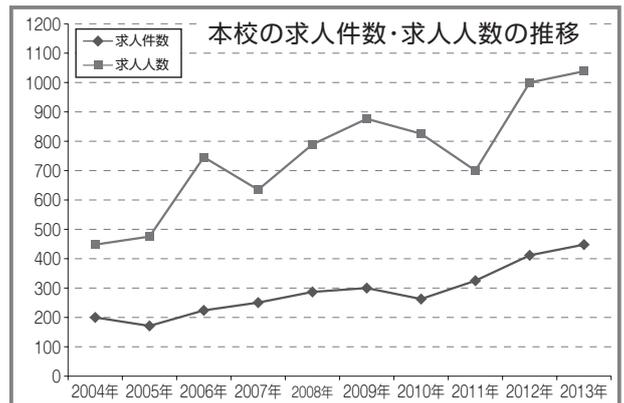
さて、本校では臨地実習への取り組みとして入学時から指導を始めています。まずは、挨拶、身嗜みの徹底はもちろん、相手の立場に立った考え方で細かく指導しています。実習先では「手伝いもしてもらおう」と言われますが、本校では「手伝いはない」と言っています。それは、「手伝い」といわれる内容でも日常業務の中のひとつです。

現場でどのように業務が行われているかを体験することが、学生にとっての臨地実習です。どんどん学生に経験させてください。本校では即戦力になれる学生の育成を目標としています。就職先でありたいと言っていただけるよう、今後も努力して参ります。

就職に関しては、ありがたいことに毎年求人数が増えており、年明けにはほとんどの学生が内定しています。年度末の求人では期待に添えない場合もあり、教務として申し訳ない気持ちでいっぱいです。

就職試験の時期は、例年8月初旬に公立病院機構、8月中旬に国立病院機構があり、学生の就職活動が本格化してきます。しかし、1月中旬から2月末までは国家試験に集中するため、就職試験が後回しになります。求人票をいただく時期により学生の就職活動に対する意識度が違います。施設により諸事情はありますが、早めに求人していただくと幸いかと存じます。今後とも臨地実習、就職でお世話になりますが、よろしくお願いたします。

日本医療学院専門学校 三年担任 武本 和峰



大臨技理事会報告 Executive board report

平成25年度 第1回(4月11日開催)決定事項

- 支部名称の変更について
関西支部の名称を平成25年4月から近畿支部に変更する。
- 日臨技総会について
総会委任状の回収率を上げるために都道府県技師がバックアップする。
- 国際学会(2016年IFBLS)の開催地を兵庫県に決定。
学会長は宮島会長、実行委員長を小松理事が担当する。
- 平成25年度憲法記念日知事表彰について
大臨技より推薦した高田常務理事と清水理事の大阪府知事表彰が決定した。
- 大臨技決算総会について
1) 日程: 平成25年5月23日(木) 19:00~20:30
2) 場所: 大臨技事務所
3) 議案: 平成24年度各部事業報告と会計報告

大臨技事務局からのお知らせ

賠償責任保険についてのお願い

募集期間は下記の2種類です

- ① 保険期間：平成25年6月1日～平成26年4月1日午後4時まで(保険期間：10ヵ月間)
申込締切：平成25年5月20日まで
保 険 料：2,460円
- ② 保険期間：平成25年8月1日～平成26年4月1日午後4時まで(保険期間：8ヵ月間)
申込締切：平成25年7月20日まで
保 険 料：1,970円

* 8月以降の募集はございませんので、加入を希望される方はお早めにお申しください。

* 保険の詳細については、大臨技ホームページの「大臨技臨床検査賠償責任保険」のご案内をお読みください。

◆注意事項◆

- ・ 締切日を過ぎますと申込はできませんので、お早めにお申しくださいますようお願いいたします。
- ・ 一旦ご納入いただいた保険料はご返金できませんので、ご注意ください。
- ・ 加入依頼書は毎年必要ですので、加入依頼書の提出をお願いいたします。

平成25年度年会費の納入について(大臨技のみ会員の方)

6月末時点で会費未納の方は、「大臨技ニュース」等の当会発行物が送付されなくなりますので、継続される方はお早めに会費の納入をお願いいたします。

大臨技会員証について

次回の発送は7月を予定しています。

質問・ご不明な点がございましたら、事務局までご連絡ください。

自動化学発光酵素免疫分析装置

スフィアライトワーク

SphereLight Wako

- 迅速報告20分
- 処理能力 180テスト/時間
- 最大24項目をフルランダムアクセス処理



医療機器届出番号:13B1X00134000024

簡単・迅速を
追求しました。

HIGH
PERFORMANCE

腫瘍マーカー	AFP、CEA、CA19-9、CA125、PSA、NSE、proGRP、CA15-3
測定項目	甲状腺 FT3、FT4、T3、T4、TSH
他ホルモン	PRL、LH、FSH、i-PTH、C-ペプチド、インシュリン
感染症	HCV抗体、HBs抗原、HBs抗体、TP抗体、H.ピロリ抗体
心疾患	NT-proBNP、トロポニンT、CK-MB、ミオグロビン
その他	ペプシノゲンI、ペプシノゲンII、フェリチン、IgE、 β 2-m、PCT

[機器 試薬販売元] [試薬製造販売元]

和光純薬工業株式会社

[試薬製造販売元]

三洋化成工業株式会社

[機器製造販売元]

日立アロカメディカル株式会社

[問い合わせ先]

和光純薬工業株式会社

臨床検査薬 カスタマーサポートセンター

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町四丁目5番13号

TEL: 03-3270-9134 (ダイヤルイン)

皆様のご意見、情報等お待ちしております。

FAX:06-6763-5653 E-mail:webmaster@osaka-amt.or.jp

郵送の場合は大臨技事務局までご送付ください。

平成25年7月号の原稿メ切は6月4日(火)、8月号は7月5日(金)です。